

第66期 報告書

2022年2月21日 ~ 2023年2月20日



HEIWADO

証券コード:8276



地域社会の活性化を実現し、 100年続く 「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を 目指します。

代表取締役社長執行役員 平松正嗣

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループの事業、経営に対するご理解を賜り、心よりお礼を申し上げます。

ここに、第66期報告書をお届けいたします。

国内小売業界におきましては、行動制限の解除により前期のような営業時間短縮や休業は発生しなかった一方で、供給面の不安や原材料価格の動向により、商品仕入価格や光熱費が高騰するなど、業界を取り巻く環境は非

常に厳しくなっています。

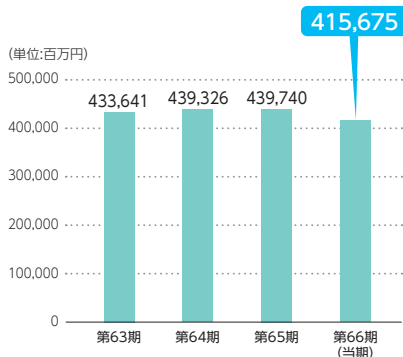
当社におきましては、食品の堅調な販売と前期の営業時間の短縮・休業の反動により、衣料品の販売は増加しましたが、光熱費の上昇や集客のための販売促進への投資を積極的に実施したことで、投資に伴う一時費用が増加しました。

以上の結果、当連結会計年度の営業収益は4,156億75百万円(前年同期4,397億40百万円)、営業利益は112億79百万円(前年同期153億62百万円)、経常利益

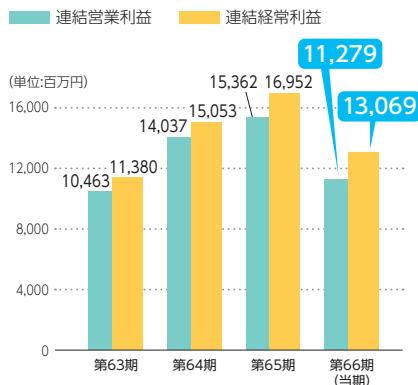
当社グループの営業成績等 (2023年2月20日現在)

(注)当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、前連結会計年度と収益の会計処理が異なります。

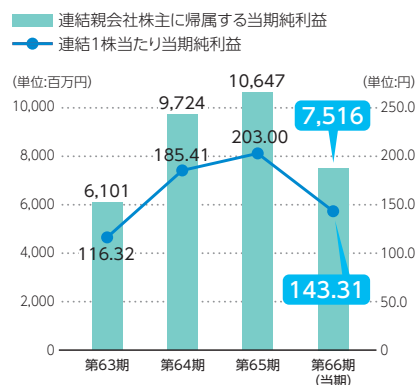
連結営業収益



連結営業利益／連結経常利益



連結親会社株主に帰属する当期純利益／連結1株当たり当期純利益



Top message

は130億69百万円(前年同期169億52百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は75億16百万円(前年同期106億47百万円)の結果となりました。

当社は「地域になくなくてはならない存在」の実現に向けて、「平和堂ならではの地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指し、「地域共創」を基本理念とし、行動基準としてのサステナビリティや事業基盤としてのDXを取り入れながら、「地域の健康(地域が活性化された状態の実現)」を土台に人材育成、筋肉質経営を中期経営計画として進

めています。プライベートブランド商品の展開強化や、商品の品質向上やサービス改善、地元の食材や商材とのコラボレーションなど、平和堂ブランドを総合的に高めていくとともに、魅力あるショッピングセンターづくりをおこなってまいります。

また、現代社会におけるコミュニティの減少、高齢者の孤立などが顕在化する中、当社が提供する場を「ライフライン」のみならず「サードプレイス」として日常的に人々が集まる場所となるような地域のコミュニティづくりをおこない、地域の活性化につなげてまいります。

環境の変化が激しい時代に対応し、様々な取組みを進めていくことが求められているからこそ、平和堂は、地域との結びつきを重視し、従業員とともに地域に貢献し続ける企業を目指してまいります。

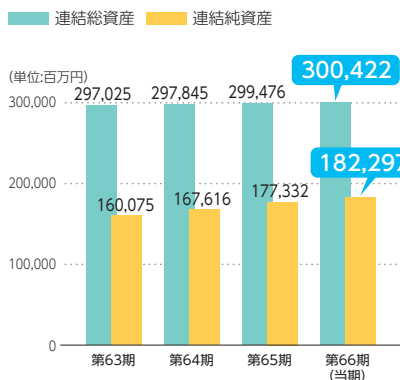
株主の皆さまには、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年5月

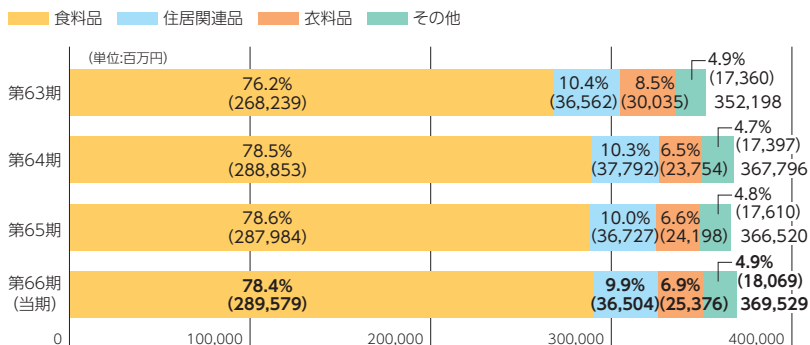


平和堂グループの中長期ビジョン

連結総資産／連結純資産



単体部門別売上高



平和堂グループは「サステナビリティ・ビジョン」を策定し、重要課題を特定して取組みを推進しています。

平和堂グループのサステナビリティ・ビジョン

100年企業に向けて。

平和堂グループは、事業を通じた「地域社会の課題」・「地球規模の課題」の解決とグループの成長の両立を目指します。

ESG 課題

地球規模の課題

- 気候変動
- 食料不足・食料危機
- 生物多様性、生態系の崩壊 など

地域社会の課題

- 高齢者の単独世帯の増加
- 少子高齢化
- 地域交流の場の喪失
- 生産人口の不足 など

企業における課題

- コンプライアンス違反
- 企業統治・内部統制の不備
- 感染症の多様化 など

5つの重要課題

「地域の健康」の実現

「地域の健康」とは、「地域の人の健康はもとより、地域産業や文化などの活動が活発で地域経済が循環しており、地域全体が元気な状態」と考えています。その中でも特に「健康」「子育て」「高齢者」をテーマに様々な取組みを進めています。

廃棄物の削減と資源循環の推進

商品ロス対策/ プラスチック廃棄物の削減/ 什器・資材・設備などのリサイクル・リユース

脱炭素社会の実現

店舗設備・配送等におけるCO₂排出量削減/ 調達における配慮

安全・安心で持続可能な商品の調達

環境や人権などに配慮した仕入れ商品・資材・設備・什器などの調達

多様な人材の活躍

女性活躍推進/ 外国人・障がい者、LGBTQなどへの配慮

重要課題の見直しを実施し、ステークホルダーのみならずによりわかりやすく伝えるために表現を変更しました。(2023年5月)

理念の実現

平和堂グループ憲章

全従業員の物心両面の幸福を
追求するとともに、お客様と地域社会に
貢献し続ける企業となる



平和堂レポートはこちらから

URL <https://www.heiwado.jp/hr/report>



平和堂グループが考える「地域の健康」とは

「地域の人の健康はもとより、地域産業や文化などの活動が活発で地域経済が循環しており、地域全体が元気な状態」と考えています。その中でも特に「健康」「子育て」「高齢者」をテーマに様々な取組みを進めています。



綱引き大会



ホームサポートサービス

Sustainability

「認知症サポーター※」養成の取組み

今後ますます進む高齢化社会を見据え、厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン」の趣旨に賛同し、全店を挙げて「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。

当社では、2010年より認知症サポーターを養成してきましたが、「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」の実現を目指して、「健康」、「子育て」、「高齢者」をキーワードに地域の健康に取り組み、2024年2月期までに全従業員の約4割にあたる10,000人の取得を目指します。従業員が認知症についての正しい知識と、認知症の方への適切な応対方法等を学び実践することで、お客様をはじめ、すべてのステークホルダーにとって安全安心で快適なお買い物環境を提案します。



店舗で実施している「認知症サポーター養成講座」の様子

※認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して可能な範囲で手助けする人をいいます。厚生労働省が全国キャラバン・メイト連絡協議会とともに全国で養成を進めています。

「フードドライブ※」の取組みを推進

当社は、かねてより商品の廃棄削減や適量販売などによる食品ロス削減に取り組んでおり、サステナブルな社会の実現へ向けた様々な活動を実施しています。

現在、全店を対象に、社内ルールとして設定している販売期限を迎える精米を、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会に一括提供し、滋賀県内各地域の子ども食堂の運営や、食材を必要とされている方々にご活用いただいています。また当期は石川県内の全7店舗や京都府や兵庫県の店舗等においてフードバンク活動を実施しました。

今後も、食品ロスの削減や資源の有効活用等の取組みを積極的に推進し、社会課題の解決に取り組んでいきます。
※家庭で使い切れない食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことです。

新規就農支援のためのいちご実践講座を開講

当社は、滋賀県の経済活性の要の一つである農業を応援するため、ミニトマトやいちごを生産する平和堂ファームを2020年に開場しました。

2022年11月には、滋賀県内で新規に独立就農を目指す方を対象とした「新規就農のためのいちご実践講座@平和堂ファーム」を開講しました。この講座は、公益財団法人滋賀県農林漁業担い手育成基金と協力し、概ね1年以内に滋賀県内においていちご栽培で就農を目指す方を対象に、ファームでの実習とパイヤーとの意見交換などを通じ、栽培や販売について学ぶことができるものです。

今後も、地域との交流や、就農支援を通じた地域の皆さまとのネットワーク構築など地域農業を応援し、滋賀県の持続可能な農業の実現に貢献してまいります。

平和堂ファームの紹介動画をご覧ください。



URL

<https://heiwado.app.box.com/s/q7z0wfre59lfe5uedce2ifkisu9spfm>



産学連携で新商品・新レシピを考案

当社は企業理念実現の取組みの一環として「地域の健康」に関する様々な連携やイベントを実施しています。その中で、食にまつわる社会課題の解決に取り組む地域の大学とコラボレーションし、新商品・新レシピを考案し、店頭で販売、紹介しました。その取組みをご紹介します。

平和堂×龍谷大学農学部×大津市

高齢者のフレイル予防 「かぼちゃのおかずさらだ」



大津市が高齢者のフレイル^{*}予防を「食」から支えるために龍谷大学農学部と連携して総菜レシピを開発する取組みに、当社も協力しました。学生が考案したレシピをもとに、旬のかぼちゃを使って味と見た目にこだわりながら、栄養価の高いおかずに仕上げました。

^{*}加齢に伴う食欲の低下や口腔機能の低下等の理由から低栄養になり心身が衰えた状態になること。

平和堂×雪国まいたけ×京都産業大学経営学部

西日本のまいたけの認知度向上へ 「まいたけレシピ」「ラベルデザイン」



若者の野菜離れの解消や、食文化の違いから東日本より相対的にまいたけ消費量が少ない西日本でのまいたけの認知度向上を目指し、株式会社雪国まいたけと京都産業大学経営学部が協働する取組みに協力しました。学生考案のまいたけレシピを公開するとともに、オリジナルラベルを貼った商品を店頭に並べました。

レシピなどの詳細はリリース情報をご参照ください。

https://www.heiwado.jp/assets/img/news/2023/pdf/0120_maitake.pdf

平和堂×立命館大学食マネジメント学部

健康・水産のSDGsを意識した 「貝だくさん海老玄米ドリア」



当社と立命館大学食マネジメント学部は、食教育プログラム実施のための協定を締結しています。このたび、水産資源の管理や環境配慮への取組みの認知度向上を目指して、学生が考案した「貝だくさん海老玄米ドリア」を、滋賀・京阪神の平和堂店舗で販売しました。

彦根総合スポーツ公園 (滋賀県彦根市) 2つの競技場のネーミングライツパートナーとして契約

当社は、2025年に滋賀県で開催する「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ^{*}」のメイン会場である彦根総合スポーツ公園内の陸上競技場および補助競技場について、ネーミングライツにかかる契約を2023年1月に締結しました。

陸上競技場は「平和堂HATOスタジアム」、補助競技場は「平和堂げんきっこフィールド」の愛称で地域の皆さまに親しんでいただき、滋賀県全体のスポーツの活性化や発展の一助となることで、「地域貢献」「地域への感謝」の実現を目指してまいります。



平和堂HATOスタジアム

^{*}第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

Sustainability

平和堂ネットスーパー アル・プラザ宇治東でサービス開始



平和堂ネットスーパーは、専用のスマートフォンアプリ「平和堂ネットスーパーアプリ」からご注文いただいた商品を、自宅など指定の場所へ置き型配達、または店頭で受け取れる、株式会社10Xが提供する小売りチェーン向けECプラットフォーム「Stailer」を利用したサービスです。2022年12月9日(金)に、アル・プラザ宇治東(京都府宇治市)にて開始しました。

平和堂ネットスーパーアプリでは、食品や一部暮らしの品など10,000点以上を取り揃えます。24時間受付で朝7時までのご注文で当日の受け取りが可能です。

お年寄りや共働き、小さなお子様がいいらっしゃるご家庭の買い物の不便解消につなげるとともに、新型コロナウイルスの影響による買い物の仕方の多様化にも対応した取組みです。



株式会社ベストオーネが 「食品衛生優良施設」として表彰

当社グループ会社の株式会社ベストオーネが運営する総菜加工センター「デリカセンター」が、厚生労働省と公益財団法人日本食品衛生協会が主催する「食品衛生事業者厚生労働大臣表彰」において、「令和4年度 食品衛生優良施設」として表彰されました。

これは、施設設備の衛生管理のほか、従業員の健康管理や食品衛生の教育が徹底されている事業所に贈られる賞で、ベストオーネの取組みが評価されたものです。

今後もおお客様の食卓へ安全・安心な食品をお届けするため、グループ全体で取組みを推進してまいります。



Topics

西川貴教さんが特命GMに就任



特命GMへの辞令交付の様子

平和堂創業65周年を記念して、平和堂イメージソング「かけっことびっこ」西川貴教バージョンを歌唱いただいた、滋賀県出身のアーティスト 西川貴教さんが、当社の特命GMに就任しました。「平和堂特命GM」は特別に用意した架空の役職ですが、当社の取組みや商品など、西川さんが「いいね」と思ったものをおすすめいただいたり、当社がさらに良くなるための提案をいただいたりする予定です。ぜひご期待ください。

特命GM就任動画は、平和堂公式YouTubeで公開しています。

[URL](https://www.youtube.com/playlist?list=PLfoq5rqhkX3Xy8OJgseOSmeErrINScVBd) <https://www.youtube.com/playlist?list=PLfoq5rqhkX3Xy8OJgseOSmeErrINScVBd>





REFRESH OPEN

アル・プラザ彦根 (滋賀県彦根市)

2022年
12月2日(金)
OPEN



フードコートにオープンした「FOODLAB.358」

アル・プラザ彦根は、1979年に「アル・プラザ」の1号店として、JR彦根駅西口前にオープンして以来、多くのお客様にご来店いただきました。開店から40年を経てリニューアルを進め、2021年12月に第一期として6階建ての施設のうち地下1階から3階の食品フロアや暮らしのフロア、ファッションフロアをリフレッシュオープンしました。さらに2022年12月には第二期として、4階から6階の地域交流のフロアや、書店と展望カフェのフロア、屋上デッキが生まれ変わり、全館リニューアルしました。

彦根駅の玄関口にある店舗として、地域の皆さまの生活に寄り添うとともに、彦根を訪れる方々に彦根や滋賀県の魅力をお伝えできる店舗となることを目指し、最高のおもてなしを実現していきます。



セラミック製ボールの足湯



REFRESH OPEN

株式会社ダイレクト・ショップ

平和書店 アル・プラザ彦根店 (滋賀県彦根市)

2022年
11月26日(土)
OPEN



アル・プラザ彦根のテナントとして入店している、平和堂グループ会社の株式会社ダイレクト・ショップが運営する「平和書店 アル・プラザ彦根店」がリニューアルオープンしました。アル・プラザの全館リニューアルにあわせて全面リニューアルした約300坪の売り場には、“地域に寄り添う、新たな発見に満ちたライフスタイル提案型書店”をコンセプトに、地域の歴史や地元出身の作家の方々の作品

を集めたコーナーや、旬な情報を切り口に書籍や関連商品を集めた提案型のコーナー、お客様が選ぶ「おすすめの本」をもとにつくる本棚などが誕生しました。

お子様向けのフリースペースや、眺望のよい窓側に設けたパーソナルスペースなど、本を読んだり自習をしたり、思い思いのスタイルで過ごしていただける空間を提供しています。



お子様向けのフリースペース

REFRESH OPEN

ショッピングプラザ アピア (滋賀県東近江市)

2022年
9月9日(金)
OPEN



はちマルシェ

近江鉄道八日市駅前に位置する、当社直営の「アル・プラザ八日市」を核とした41の専門店から構成されたショッピングプラザ アピアが、大規模リニューアルを行いました。

食料品・衣料品・暮らしのフロアのレイアウト変更や品揃えの拡充に加え、専門店街では子育て世代向けを中心に、新しいショップが入店しました。また、地域のコミュニティの場となることを目指し、地元人気飲食店などが揃うフードコートを中心に、コミュニティスペース「はちマルシェ」や地域交流スペース「みんなの広場」を設置しました。駅前のにぎわい創出に貢献し、地域を代表するショッピングセンターとして生まれ変わりました。



みんなの広場

NEW OPEN

CoCoRo Plus ららぽーと堺店 (大阪府堺市)

2022年
11月8日(火)
OPEN



コスメ&バラエティストア「CoCoRo Plus ららぽーと堺店」を、「ららぽーと堺」の1階にテナントとして出店しました。「CoCoRo Plus」は、美や健康に関心の高い20~30歳代のお客様に人気のショップです。SNSで人気のコスメや、オーガニック化粧品ブランドのコスメなどを取り揃え、トレンドコスメと上質なコスメが充実した店舗となりました。

今回の出店はショッピングセンター内のテナントでは6店舗目、平和堂店舗内の出店と合わせて29店舗目となります。

NEW OPEN 株式会社ファイブスター

すし処 海座彦根松原店 (滋賀県彦根市)

2023年
1月26日(木)
OPEN

COCO'S・海座・伝五郎を運営するグループ会社の株式会社ファイブスターの「すし処 海座彦根松原店」がオープンしました。

彦根城の足下に位置し、滋賀県や周辺の特産品、琵琶湖産食材をお楽しみいただけるほか、日本海の幸をはじめ、全国各地からの鮮度が良い素材を、職人が一つひとつ丁寧にご提供します。また、「海座」初のドライブスルーの設置や、CO₂排出量が少ない木造建築の建物など、環境、人、地域交通へ配慮した施設づくりを行っています。

歴史ある街で新たな新名所となる店舗を目指してまいります。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 2023年2月20日現在	前 期 2022年2月20日現在
資産の部		
流動資産	64,842	65,557
固定資産	235,579	233,919
有形固定資産	195,300	193,067
無形固定資産	10,536	9,649
投資その他の資産	29,742	31,202
資産合計	300,422	299,476
負債の部		
流動負債	81,207	86,160
固定負債	36,917	35,984
負債合計	118,124	122,144
純資産の部		
株主資本	176,670	171,303
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,748	19,748
利益剰余金	145,505	152,252
自己株式	△197	△12,312
その他の包括利益累計額	3,710	3,884
その他有価証券評価差額金	603	737
為替換算調整勘定	3,115	2,907
退職給付に係る調整累計額	△9	240
非支配株主持分	1,917	2,144
純資産合計	182,297	177,332
負債純資産合計	300,422	299,476

Point 1 資産合計の増加

総資産は、流動資産その他、有形固定資産が増加し、現金及び預金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ

9億45百万円増加
(前期末比0.3%増加)

Point 2 負債合計の減少

負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金、未払消費税等が減少し、資産除去債務が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ

40億19百万円減少
(前期末比3.3%減少)

Point 3 純資産の増加

純資産は、利益剰余金、自己株式が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ

49億64百万円増加
(前期末比2.8%増加)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2022年2月21日から 2023年2月20日まで	2021年2月21日から 2022年2月20日まで
営業収益	415,675	439,740
売上高	381,474	412,154
営業収入	34,200	27,585
売上原価	265,501	289,629
売上総利益	115,973	122,525
営業総利益	150,174	150,110
販売費及び一般管理費	138,895	134,748
営業利益	11,279	15,362
営業外収益	1,987	1,774
営業外費用	197	185
経常利益	13,069	16,952
特別利益	1,415	1,338
特別損失	2,572	2,438
税金等調整前当期純利益	11,912	15,852
法人税、住民税及び事業税	4,076	4,970
法人税等調整額	340	185
当期純利益	7,496	10,695
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△20	48
親会社株主に帰属する当期純利益	7,516	10,647

Point 4

営業収益は4,156億75百万円(前年同期4,397億40百万円)となりました。

Point 5

営業利益は112億79百万円(前年同期153億62百万円)となりました。

Point 6

親会社株主に帰属する当期純利益は75億16百万円(前年同期106億47百万円)となりました。

Point 7

その他の資産の増減額が増加した一方で、税金等調整前当期純利益、預り金の増減額、法人税等の支払額が減少したこと等により、営業活動による資金の収入は、前連結会計年度に比べ45億98百万円減少し、156億85百万円となりました。

Point 8

長期借入れによる収入が増加した一方で、短期借入金の純増減額、長期借入金の返済による支出が減少したこと等により、財務活動による資金の支出は、前連結会計年度に比べ15億25百万円減少し、51億30百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2022年2月21日から 2023年2月20日まで	2021年2月21日から 2022年2月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,685	20,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,428	△9,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,130	△6,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△167	736
現金及び現金同等物の増減額	△5,040	5,321
現金及び現金同等物の期首残高	30,137	24,816
現金及び現金同等物の期末残高	25,096	30,137

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2023年2月20日現在	2022年2月20日現在
資産の部		
流動資産	52,212	46,683
固定資産	222,664	223,237
有形固定資産	167,827	164,862
無形固定資産	8,737	7,801
投資その他の資産	46,099	50,572
資産合計	274,876	269,920
負債の部		
流動負債	79,079	80,991
固定負債	33,745	32,781
負債合計	112,825	113,773
純資産の部		
株主資本	161,448	155,411
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,017	19,017
利益剰余金	131,014	137,092
自己株式	△197	△12,312
評価・換算差額等	602	736
その他有価証券 評価差額金	602	736
純資産合計	162,050	156,147
負債純資産合計	274,876	269,920

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2022年2月21日から 2023年2月20日まで	2021年2月21日から 2022年2月20日まで
営業収益	371,282	388,461
売上高	343,379	366,520
営業収入	27,901	21,940
売上原価	250,784	268,039
売上総利益	92,595	98,480
営業総利益	120,498	120,421
販売費及び 一般管理費	110,555	106,605
営業利益	9,943	13,816
営業外収益	2,653	1,611
営業外費用	285	248
経常利益	12,311	15,179
特別利益	962	659
特別損失	1,761	1,452
税引前当期純利益	11,512	14,386
法人税、住民税及び 事業税	3,423	4,029
法人税等調整額	△151	392
当期純利益	8,240	9,965

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社株式100株以上ご所有の株主様へのご優待制度をご案内します。

毎年2回(8月20日、2月20日)現在の当社株式100株以上をご所有の株主様に對して「株主様ご優待券」(額面100円)または「ギフトカード」を下記の基準によりお選びいただけます。

◎株主様ご優待券をご選択の場合

ご所有株式数	1回当たりの贈呈額
100株～ 499株	1,000円のご優待券 100円券× 10枚
500株～ 999株	5,000円のご優待券 100円券× 50枚
1,000株～1,999株	10,000円のご優待券 100円券×100枚
2,000株～2,999株	20,000円のご優待券 100円券×200枚
3,000株～3,999株	30,000円のご優待券 100円券×300枚
4,000株～4,999株	40,000円のご優待券 100円券×400枚
5,000株以上	50,000円のご優待券 100円券×500枚



(注)ご使用方法は、1回のお買上げ金額(1枚のレシートの税込金額)1,000円以上につき、1,000円毎に1枚(100円券)ご使用いただけます。なお、「株主ご優待券」は、(株)平和堂、(株)エール、(株)丸善の各直営店舗(テナント及び協同組合は除く)及び(株)ファイブスターの店舗で利用できます。有効期限は2023年11月30日です。

◎ギフトカードをご選択の場合

ご所有株式数	1回当たりの贈呈額
100株～ 999株	500円相当
1,000株以上	2,000円相当



企業データ

会社概要

2023年2月20日現在

社名 株式会社 **平和堂**
所在地 〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
電話 0749-23-3111(代)
設立 1957年6月
資本金 11,614,379,000円
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
従業員数 13,698名
正社員 3,624名(男2,514名 女1,110名)
パート・アルバイト社員 10,074名
※パート・アルバイト社員は8H換算期中平均
事業内容 食料品、衣料品、日用雑貨品等の総合小売業
および店舗賃貸業等
店舗数 154店舗(2023年5月18日現在)

役員

2023年5月18日付

代表取締役社長執行役員	平松正嗣
取締役専務執行役員	夏原行平
取締役常務執行役員	夏原陽平
取締役常務執行役員	小杉茂樹
取締役上席執行役員	平塚善道
社外取締役	上山信一
社外取締役	行木陽子
取締役(常勤監査等委員)	本持真二
社外取締役(監査等委員)	山川晋
社外取締役(監査等委員)	高島志郎

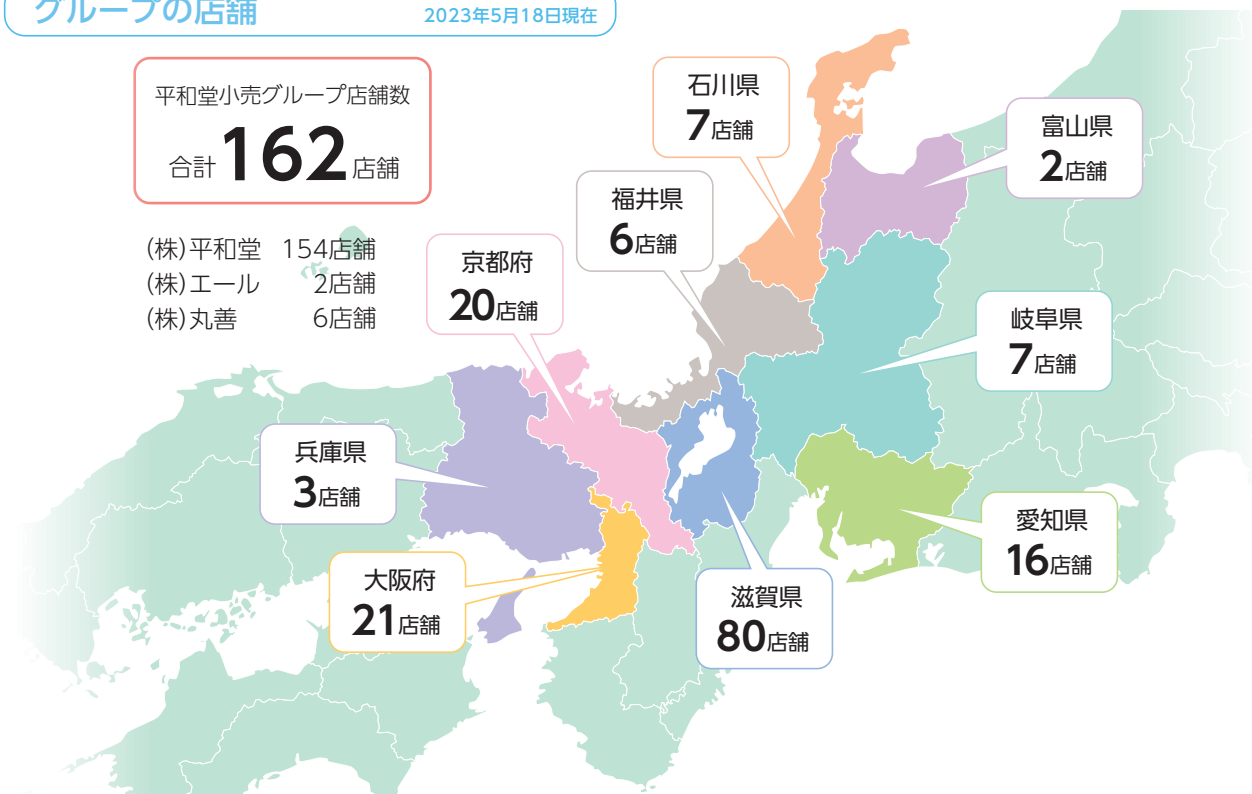
グループの店舗

2023年5月18日現在

平和堂小売グループ店舗数

合計 **162** 店舗

(株)平和堂 154店舗
(株)エール 2店舗
(株)丸善 6店舗



株式の状況

2023年2月20日現在

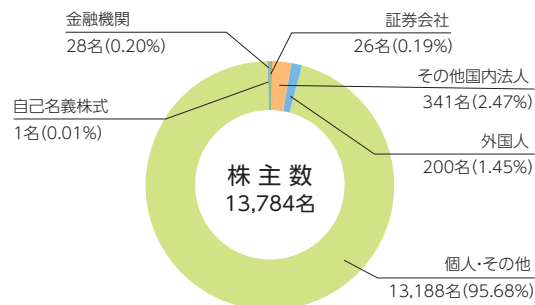
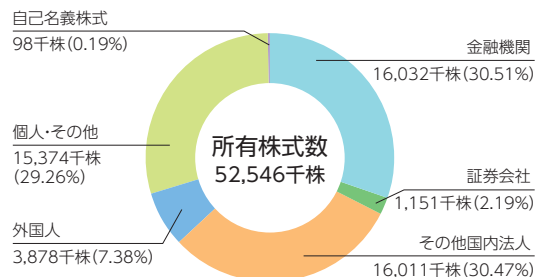
発行可能株式総数…………… 150,000,000 株
 発行済株式の総数…………… 52,546,470 株
 株主数…………… 13,784 名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,656	6.97
夏原商事合同会社	3,500	6.67
平和堂共栄会	3,165	6.04
公益財団法人平和堂財団	3,000	5.72
株式会社滋賀銀行	2,500	4.77
株式会社ピース&グリーン	1,950	3.72
日本生命保険相互会社	1,861	3.55
平和観光開発株式会社	1,694	3.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,438	2.74
株式会社三菱UFJ銀行	1,024	1.95

※出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

● 株式分布状況



● グループ会社

食料品、衣料品、日用雑貨品等の小売業

株式会社 エール 株式会社 丸善 平和堂(中国)有限公司

飲食店等の経営

株式会社 ファイブスター 株式会社 シー・オー・エム

書籍等販売・CD・DVDレンタル業およびフィットネス事業

株式会社 ダイレクト・ショップ

米飯、惣菜等の製造・加工・販売および精肉鮮魚加工

株式会社 ベストーン

アミューズメントの運営

株式会社 ユーイング

総合ビル管理および警備保安業

株式会社 ナショナルメンテナンス

不動産賃貸

株式会社 ヤナゲン

● その他の子会社

舞鶴流通産業 株式会社
 加賀コミュニティプラザ 株式会社
 福井南部商業開発 株式会社
 武生駅北パーキング 株式会社
 富山フューチャー開発 株式会社
 湖南平和物業発展有限公司

計16社

株主メモ

事業年度 毎年2月21日から翌年2月20日まで
基準日 2月20日
(その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。)
定時株主総会 5月
期末配当金受領株主確定日 2月20日
中間配当金受領株主確定日 8月20日

〈株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〉

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031

〈特別口座について〉

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.heiwado.jp)

ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページのご紹介

当社ホームページではIR情報をはじめとする、さまざまな情報をお届けしております。是非ご覧ください。

<https://www.heiwado.jp>

平和堂

検索



TOPページ



財務・株式情報ページ

表紙のご案内



平和堂グループが事業を通じて「地域社会の課題」・「地球規模の課題」の解決を実現し、グループの継続的な成長により、関わる全ての方々が豊かな暮らしを実現している平和堂グループのサステナビリティ・ビジョンをイメージしています。サステナビリティ(Sustainability)とは「持続可能性」「持続することができる」という意味です。環境、社会、経済などの観点から将来にわたって現在の価値を失うことなく維持し続けることを目指す考え方のことを言います。

平和堂レポート2023をご覧ください。

URL <https://www.heiwado.jp/hr/report>

